

「小田原市歴史的風致維持向上計画の最終評価及び第2期計画の策定」に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市歴史的風致維持向上計画の最終評価及び第2期計画の策定
政策等の案の公表の日	令和2年(2020年)12月11日(金)
意見提出期間	令和2年(2020年)12月11日(金)から 令和3年(2021年)1月9日(土)まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布(市内公共施設、ホームページ)

2 結果の概要

意見数(意見提出者数)	7件(5人)
インターネット	3人
ファクシミリ	1人
郵送	0人
直接持参	1人

無効な意見提出	0人
---------	----

3 提出意見の内容

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、計画案に反映したもの	0件
B	意見の趣旨が計画案に反映されているもの	3件
C	今後の検討のために参考とするもの	4件
D	その他(質問など)	0件

<具体的な内容>

(1) 質問

	意見の内容 (要旨)	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	歴史的建造物等を活用した文化観光を推進するため、行政各部署、市民団体、技術者、専門家、市民等が参加して、建造物の保存、利活用、PRなどの検討や活動を行う歴史的建造物活用推進機構の設置を提案する。	B	歴史的建造物の利活用等に係る公民連携の取組方策については、令和元年度(2019年度)に庁内7部19課で構成する「歴史的建造物利活用プロジェクト・チーム」を設置し、検討を開始しています。 今後の歴史まちづくりの推進については、第1期計画で、歴史的風致の核となる建造物の保存・活用に向けた指定等が進んだことから、第2期計画では、それらの歴史的風致形成建造物の持続的な保存・活用を促す仕組みを構築していきます。
2	邸園文化と歴史資産を活かしたまちづくりのプロジェクトを提案する。 ①「幟の立つまち」～まちしるべ、まちしるべの「幟旗」をたてようプロジェクト ②まち歩きを楽しくする「案内看板」をたてようプロジェクト ③板橋竹の小径に「竹垣」をつくろうプロジェクト ④商人はがんばった「百年名店」を盛りたてようプロジェクト ⑤西海子小路に住んでよし、訪れてよしの「邸園公園」をつくろうプロジェクト ⑥箱根口門跡周辺を小田原城の「ウエルカムエリア」にしようプロジェクト ⑦小田原ティースタイル～街中どこでも気軽に喝茶を楽しもうプロジェクト ⑧もっと「街かど博物館」を増やそうプロジェクト ⑨早川口の歩道橋を木質化して「タウンゲート」にしようプロジェクト ⑩競輪場跡地は城下町にふさわしい「武道館」を建てようプロジェクト	C	ご提案を頂きましたプロジェクトは、小田原市歴史的風致維持向上計画に係る事業の推進及び調整を行う「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」にて、今後の検討の参考とさせていただきます。

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
3	<p>歴史的、文化的資源を後世に遺すことは重要で、計画の方針は有効であるが、目標を目指すならば時代に応じた有効策で対応していくことが最重要である。</p> <p>小田原市は恵まれた歴史的観光資源やアクセスの利便性を活かした地域振興策をさらに進める必要がある。</p> <p>また、歴史遺産、文化遺産の保全と同時に、住民が生活する地域の活性化は必要。</p> <p>小田原駅周辺地区は、通勤利便性を売りにマンションはでき続けるものの生活するには十分便利とは言えない。生活する者が不便さを感じる状態が改善すれば、歴史・文化的遺産の保全もさらに意味のあるものになる。現在はそのため具体策があまり見えない。</p>	C	<p>本市では、平成25年（2013年）から小田原駅周辺の都市空間と小田原城周辺の歴史的空間が近接している魅力を最大限に生かしながら、中心市街地における持続可能な商業機能の確保や地域コミュニティの構築など生活の利便性向上を目指し、全庁的な取組を推進しています。</p> <p>第2期計画の推進にあたっては、これらの取組とも連動させ、いただいたご意見も参考としながら、更なる歴史まちづくりを展開していきます。</p>
4	<p>銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境整備事業について、第1期10年間で著しい効果があったかは疑問がある。</p> <p>事業の方向性は間違っていないが、今後も継続するには、街づくりルールに強制力が必要なことやルールの中身の有効性など、確認された課題を解決し、さらに環境整備に有効に作用するような協議会、実効性のある街づくりルールとする必要を感じる。</p> <p>最大の課題はそれらの計画を実行していく当事者の意識であると思う。</p> <p>民間の積極性や自発性には限界があることが多い。まずは市として考える将来像と根拠を提示する事から始めた方が合理的ではないだろうか。</p> <p>最終評価シートの流動客の減少に「2軒のスーパーの閉店」は影響があるが「なぜ閉店したか」が重要である。</p> <p>また、有識者コメントの「取り組む意思のある方は一通り順番が回った」は、そのとおりだと思う。今後は、修景以外にもよい結果につながる施策が必要とも思える。</p>	B	<p>第1期計画においては、「銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上」と「国道255号電線類地中化事業」を位置付け、国の支援を受けながら、公民連携で取り組んできましたが、街なみ環境を向上していくうえでの課題も抽出できたと考えています。</p> <p>第2期計画では、これまでの経緯や課題等について、地元協議会を中心に、沿道地権者等とも共有しながら、引き続き、公民連携のもと、景観計画重点区域への指定による建築物等の色彩制限や屋外広告物の規制など、実効性のある課題解決策の実施に向けて取り組み、点から線へのまちづくりを展開していきたいと考えています。</p>

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
5	<p>小田原の良さの一つが『歴史あるまち』です。</p> <p>今後、小田原の未来を考え観光誘客や移住を含め都市セールスを行う中で、小田原市歴史的風致維持向上計画は継続すべき施策だと考えます。</p> <p>ただし、歴史あるモノに地域の良さやこの時代の良さを足し、今の時代にあった誇るべきものに昇華させていく事が必要だと考えます。</p> <p>モノにコトを掛け合わせ、この地域に来ないと感じられないところまで持っていき、そこに人が集う事をイメージし進めていただける事を強く望みます。</p>	B	<p>第1期計画では、歴史的風致を形成する建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、その件数を着実に増やすとともに、修理等に対する支援を行うなど、「維持」をテーマに、歴史まちづくりに取り組んできました。</p> <p>第2期計画では、歴史的風致を形成する建造物の利活用や歴史・伝統を反映した活動の支援を行うなど、「維持」から「向上」をテーマに、面的な歴史まちづくりの展開を目指していきます。</p>
6	<p>ホテルが生育する環境づくりや水車の復元等による小田原用水のPR、鉢植を含め、街中に花（さざんか、ダリヤ、おしろいばな等）を増やし、花フェスティバルを開催する等、地域住民の意識向上に向けた取組を提案します。</p>	C	<p>ご提案を頂きました取組は、小田原市歴史的風致維持向上計画に係る事業の推進及び調整を行う「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」にて、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>板橋と南町の別邸文化に由来する営みを読み、近隣に住む者として、西海子小路を中心に文化人の残した別邸や文学者が残した作品が大切に保存される事は本当に有難い事だと思います。</p> <p>また、初めての来訪者によりわかりやすい地図があると良いと思います。何々小路という地名が数多くあるのも興味深いと思います。</p>	C	<p>板橋と南町における近代別邸とその別邸文化に由来する営みは、良好な市街地環境を形成しているため、引き続き、第2期計画においても維持及び向上すべき歴史的風致として位置付けています。</p> <p>第2期計画では、拠点となる建造物の保存活用や街なみの環境整備を進めることとしていますので、ご提案を頂きました地図の作成については、小田原市歴史的風致維持向上計画に係る事業の推進及び調整を行う「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」にて、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

4 提出意見と関係なく変更した点

(1) 小田原市の歴史的風致の概要と分布状況

歴史的風致を形成する建造物の調査を継続して進め、箱根外輪山東麓の柑橘栽培にみる歴史的風致の範囲を拡大しました。